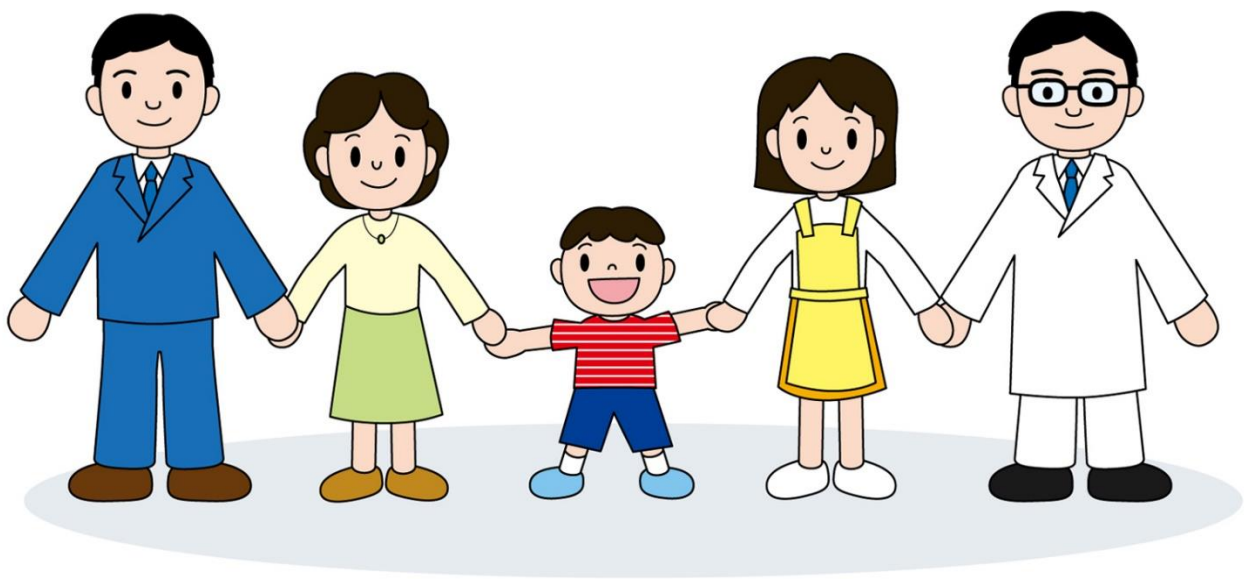


令和4年度

豎川ブロック 小中合同学校保健委員会

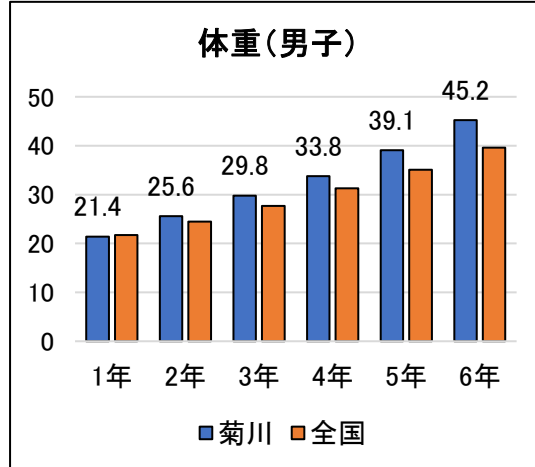
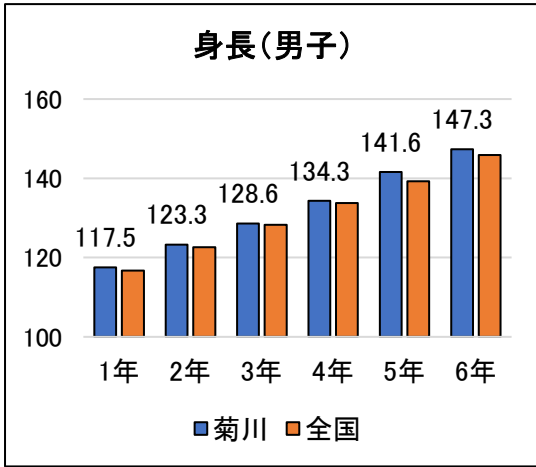


令和4年12月8日
墨田区立菊川小学校
墨田区立中和小学校
墨田区立豎川中学校

菊川小学校

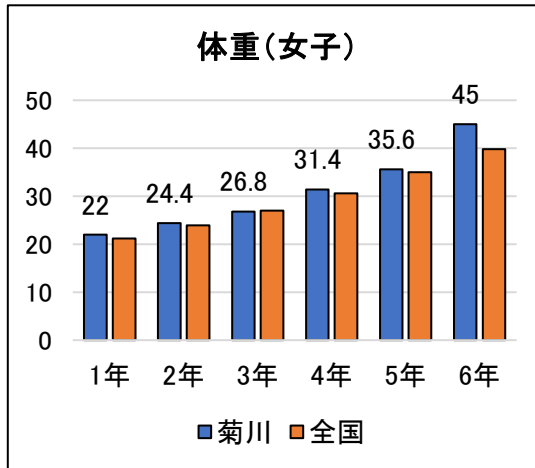
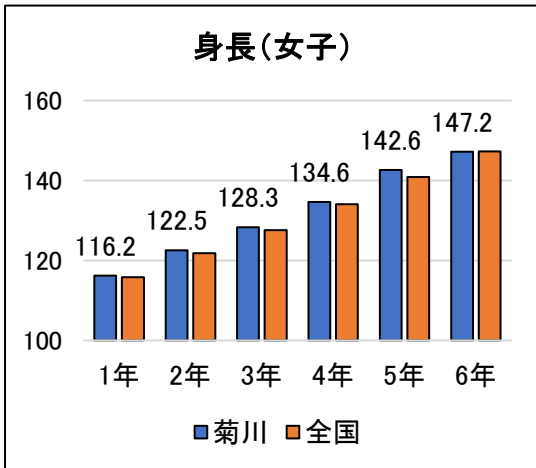
【定期健康診断の結果】

① 身体測定



身体測定 全国との比較 男子

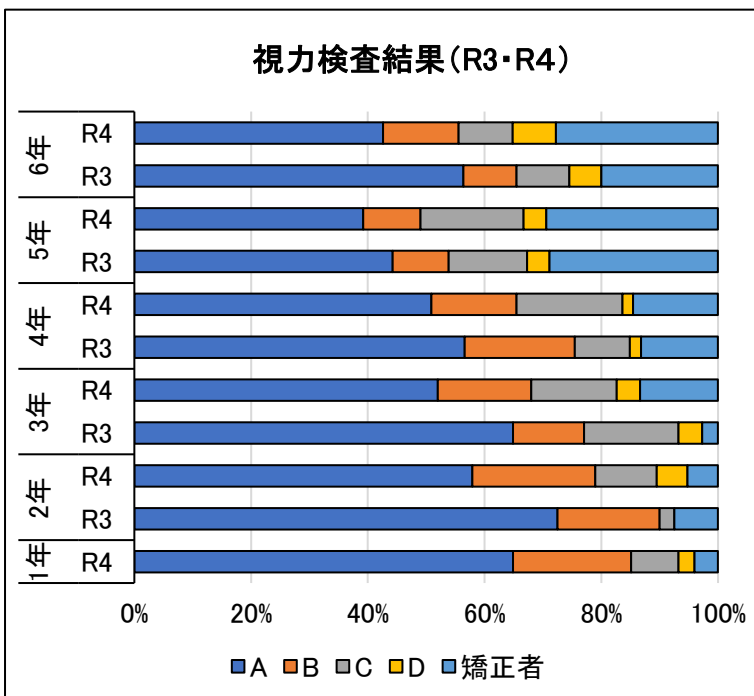
身長は全学年で全国平均を上回った。
 体重は3・4年生で2kg以上、5・6年生で4kg以上、全国平均を上回った。



身体測定 全国との比較 女子

身長は1～5年生で全国平均を上回った。
 体重は6年生で全国平均を5kg以上、上回った。

② 視力検査

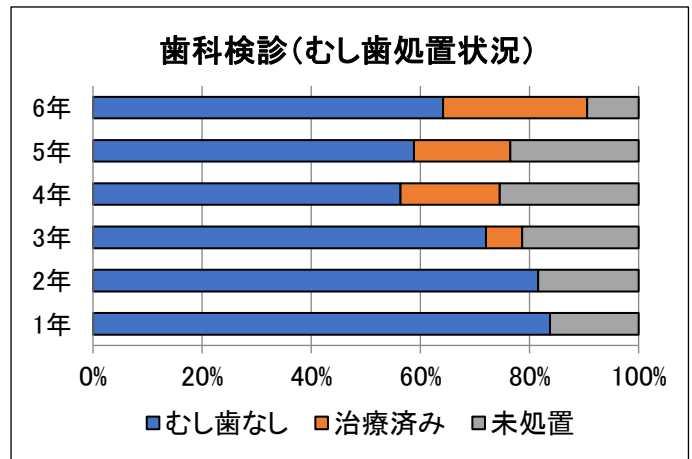
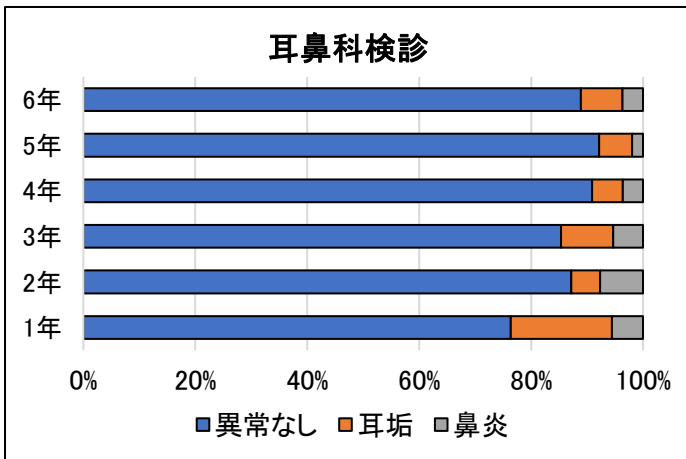
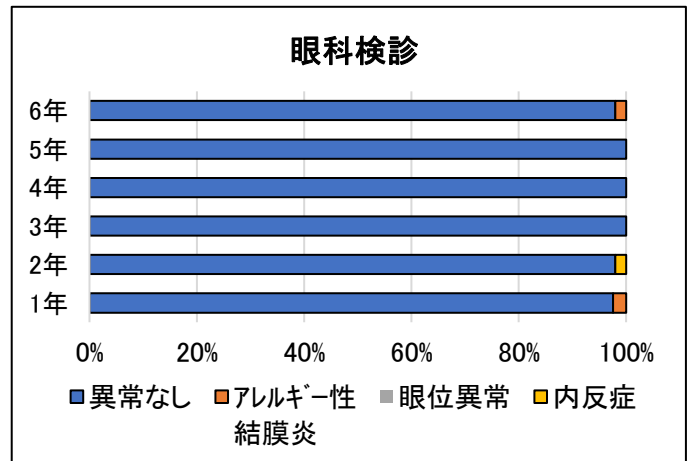
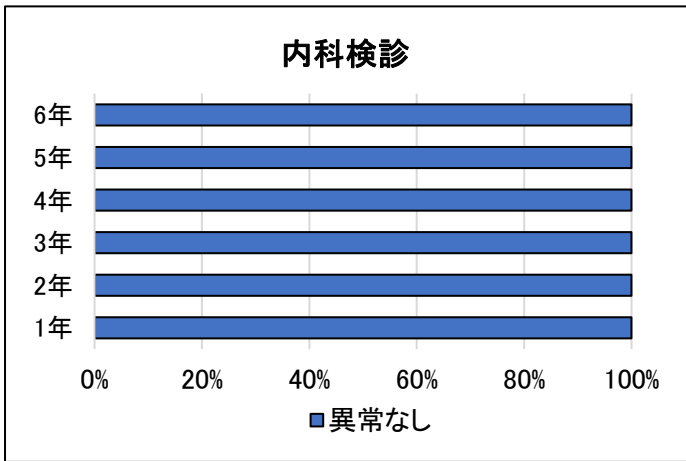


A: 裸眼 1.0 以上 B: 裸眼 0.7 以上 1.0 未満
 C: 裸眼 0.3 以上 0.7 未満 D: 裸眼 0.3 未満

視力検査 R3との比較

2～6年生はR3と比べて、B以下の児童と視力矯正者の割合が高くなっている。特に、3・6年生でB以下の児童の割合が高くなっている。
 普段の生活習慣が視力に影響を与えていると考えられる。タブレット端末やゲーム等の電子機器の使用時間、学習や読書、タブレット使用時の姿勢について健康の観点でも指導を進めていく必要がある。

③ 内科・眼科・耳鼻科・歯科検診



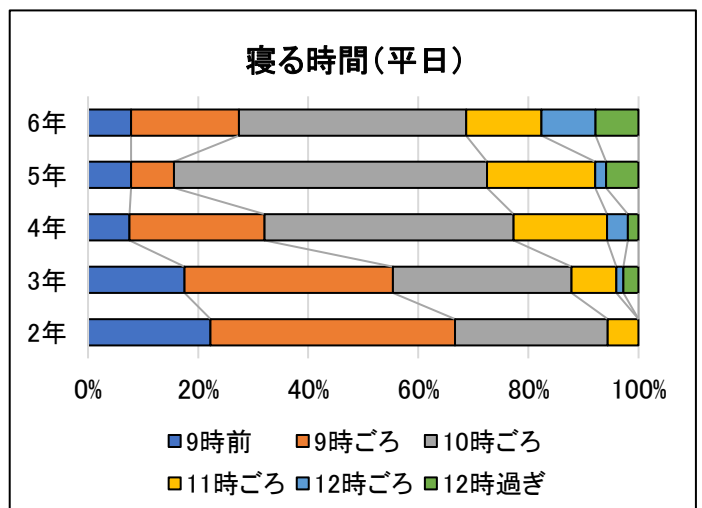
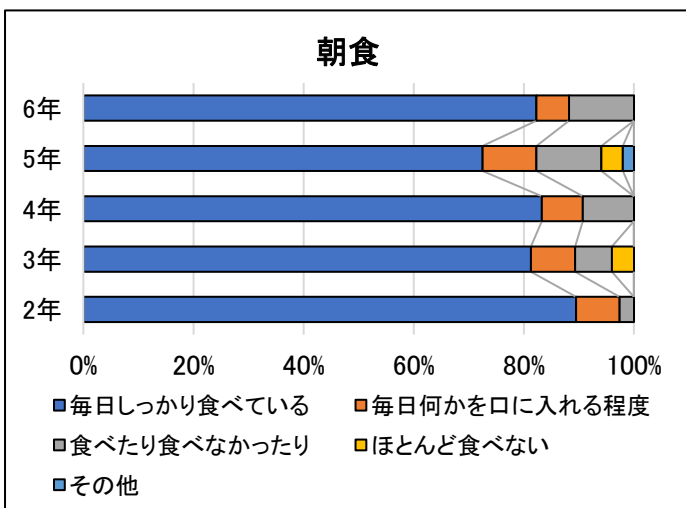
内科・眼科・耳鼻科・歯科検診

内科検診・眼科検診では、全学年で9割以上の児童が異常なしであった。

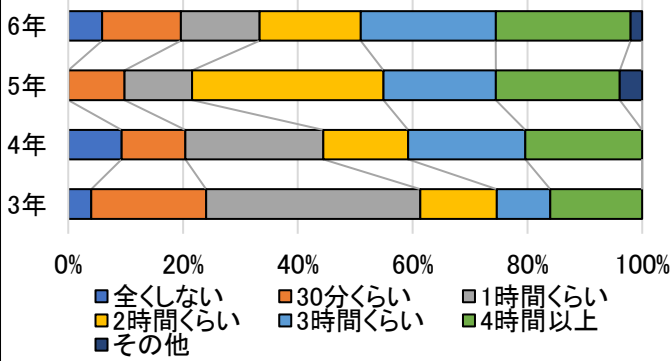
耳鼻科検診では、1・3年生の耳垢の割合がやや高かったが、全学年で7割以上の児童が異常なしであった。

歯科検診のむし歯処置状況では、全学年で7割以上の児童がむし歯なしまたは治療済みであった。むし歯以外では、歯肉炎になっている児童が低学年から見られたため、1年生から正しいブラッシング方法の指導、仕上げ磨きの推奨等、予防のための指導をする必要がある。

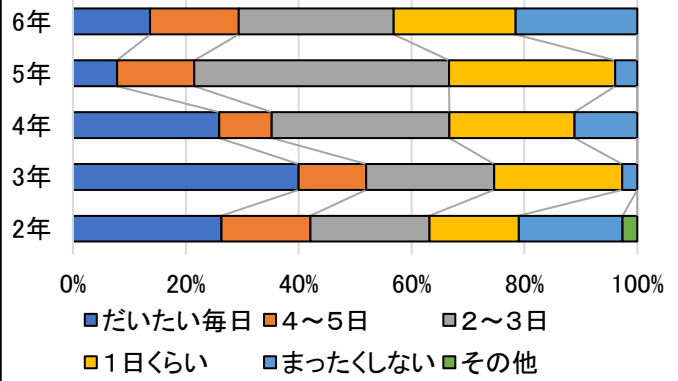
【学校生活習慣アンケート結果(前期)】



テレビ、動画、インターネット、ゲームの時間(平日)



授業以外での運動

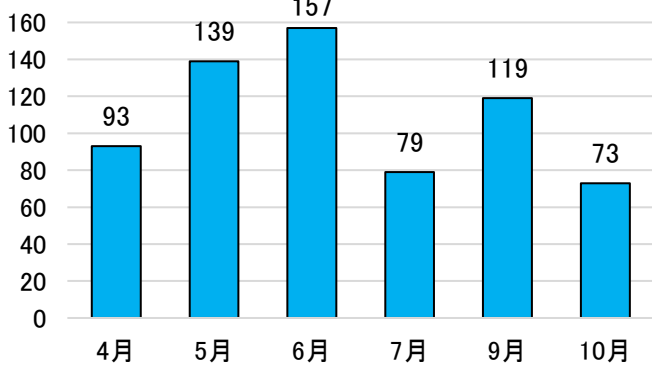


学校生活習慣アンケート

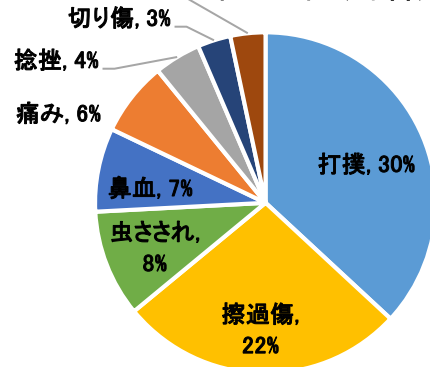
朝食では全学年8割以上の児童が毎日何かを口に入れる程度食べており、7割以上の児童は毎日しっかり朝食を食べていた。寝る時間では、全学年7割以上の児童が10時ごろまでに就寝していた。テレビ、動画等の時間は、全学年で5割以上の児童が30分~2時間くらい利用しており、学年が上がるにつれて時間も長くなる傾向にあった。授業以外での運動では、全学年とも8割前後の児童が1週間に1日以上していた。

【保健室来室状況(令和4年4月1日~10月31日)】

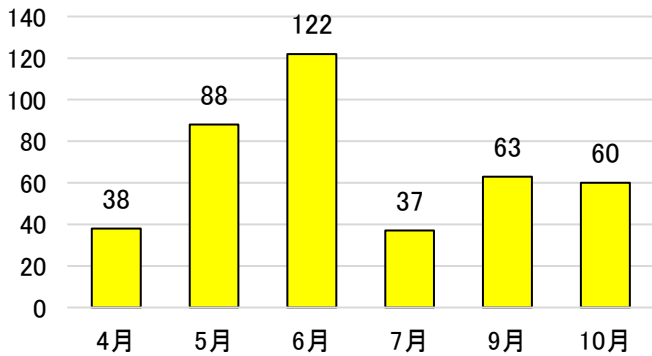
菊川小 月別来室者数(外科)



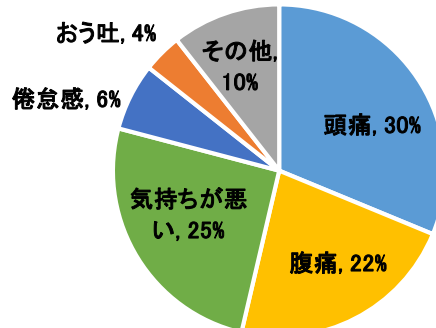
来室理由(外科)



菊川小 月別来室者数(内科)



来室理由(内科)



保健室来室状況

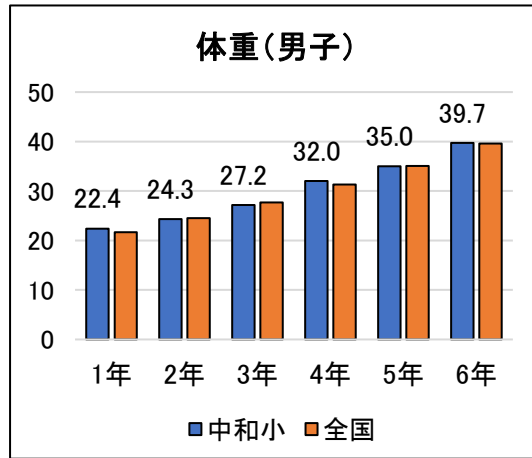
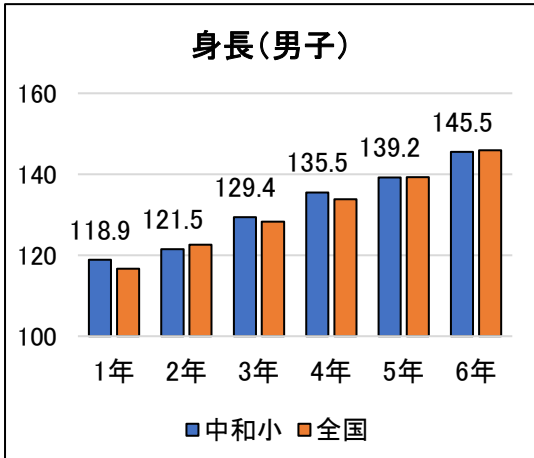
来室者数は、外科で延べ660名、内科で延べ408名であった。

外科の内訳は、「打撲」「擦過傷」「虫刺され」の順に多かった。内科の内訳は、「頭痛」「腹痛」「気持ちが悪い」の順に多かった。背景として、睡眠不足によると思われる体調不良により、保健室に来室する児童も見られた。

中和小学校

【定期健康診断の結果】

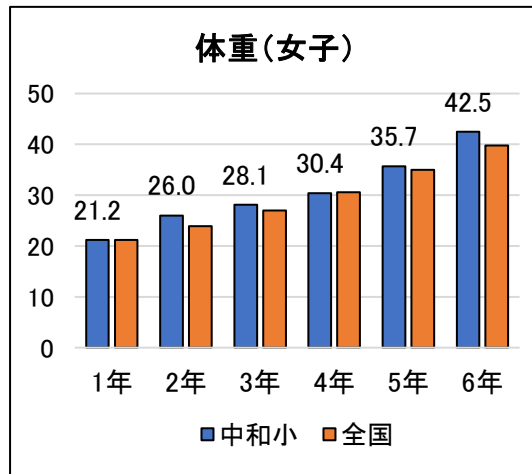
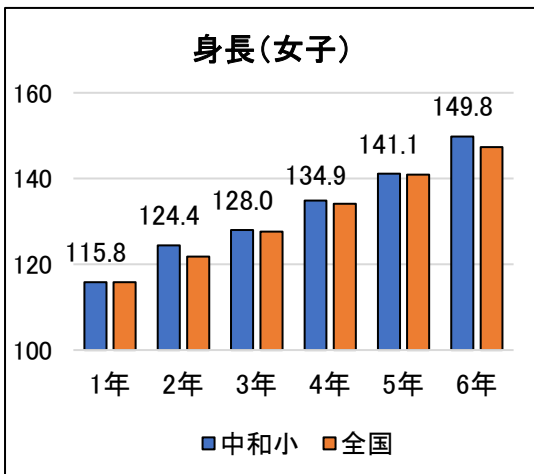
① 身体測定



身体測定 全国との比較 男子

身長は 1・3・4 年生で全国を 1cm 以上、上回った。

体重は全国平均と比べて、差はあまりみられなかった。

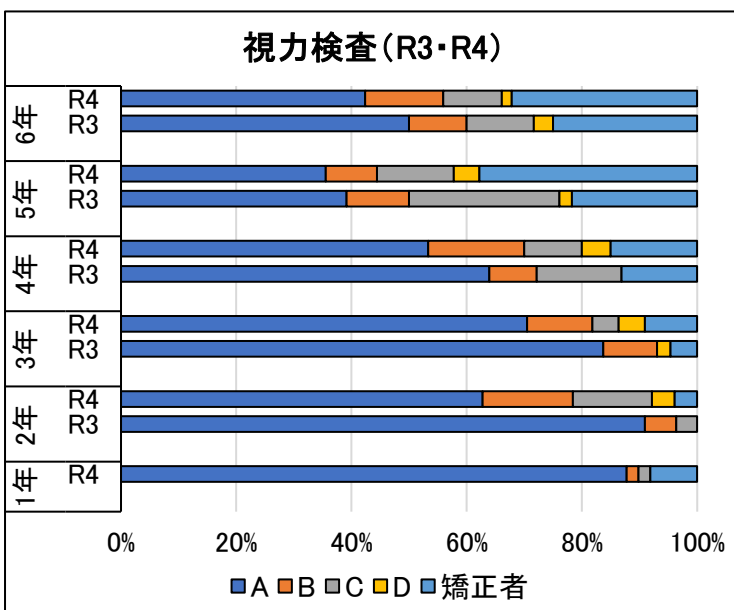


身体測定 全国との比較 女子

身長は 2・6 年生で全国を 1cm 以上、上回った。

体重は 2・3・6 年生で全国を 1kg 以上、上回った。

② 視力検査

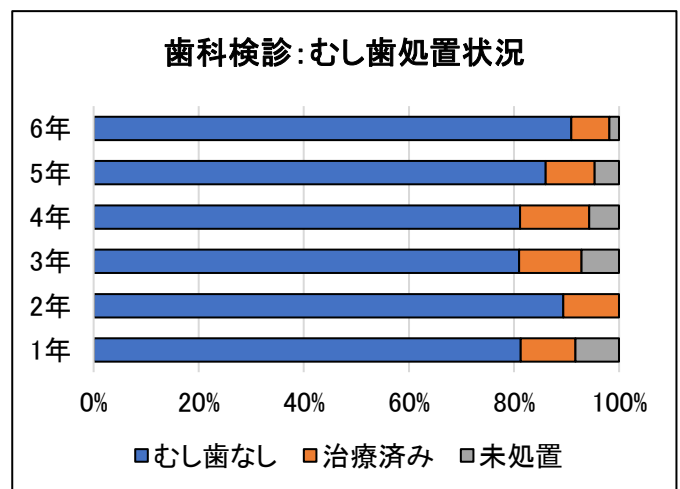
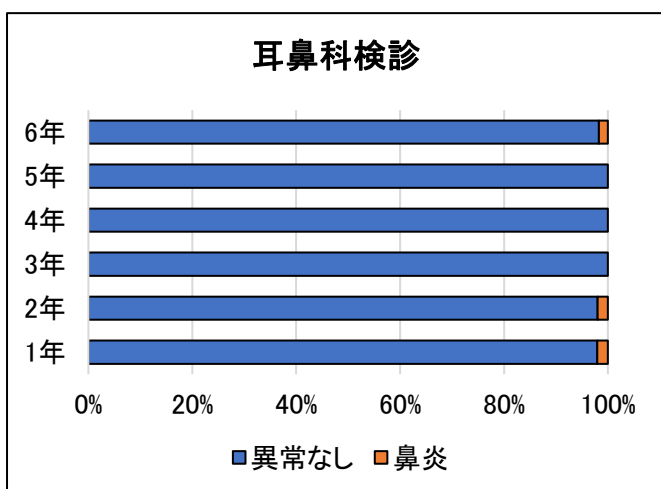
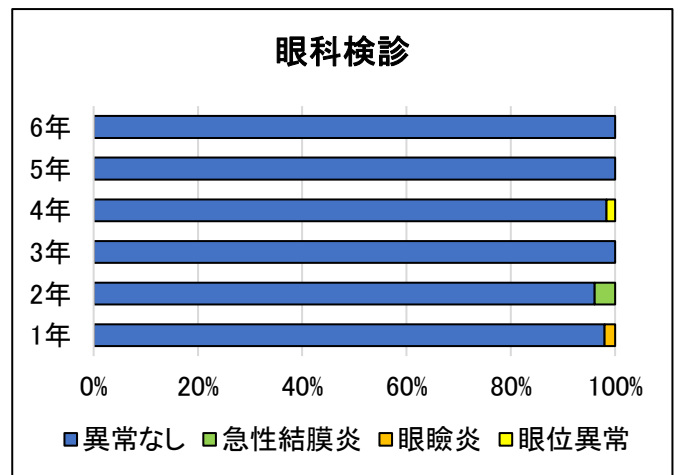
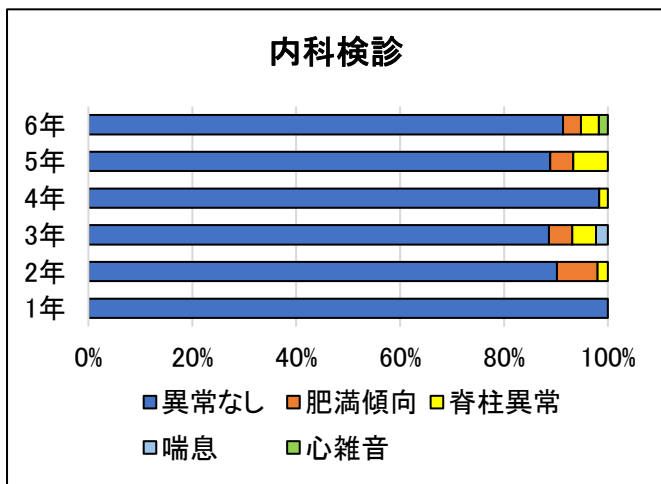


A: 裸眼 1.0 以上 B: 裸眼 0.7 以上 1.0 未満
 C: 裸眼 0.3 以上 0.7 未満 D: 裸眼 0.3 未満

視力検査 R3 との比較

2～6 年生は R3 と比べると視力 A の割合が低下した。特に 2 年生は 3 割近く減少している。また、2・4・5・6 年生において全国平均を下回った。1 人 1 台タブレット端末を使用した学習が増えているため、タブレット使用時の姿勢等について、引き続き指導が必要であると考えます。

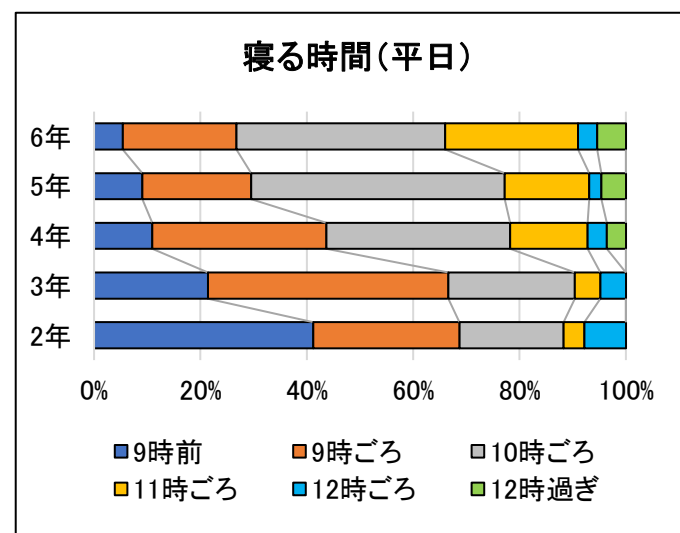
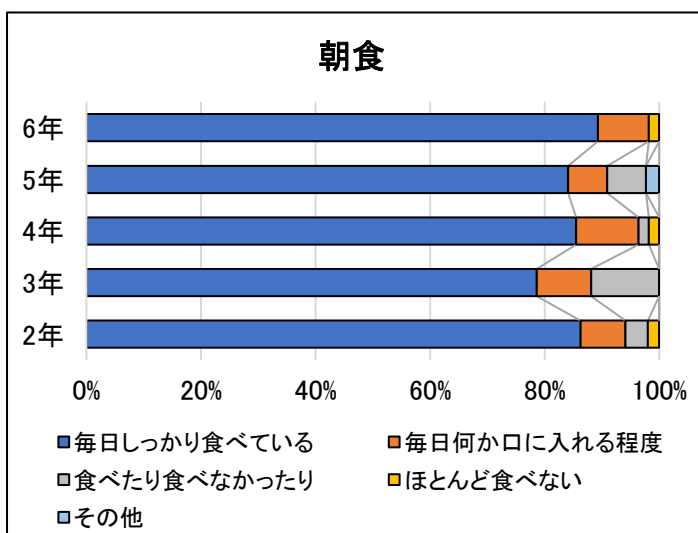
③ 内科・眼科・耳鼻科・歯科検診



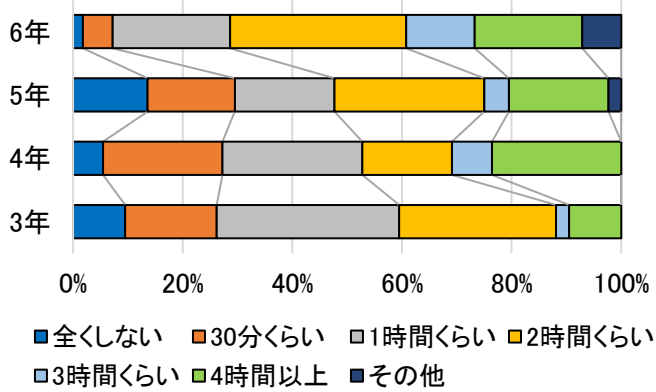
内科・眼科・耳鼻科・歯科検診

内科・眼科・耳鼻科検診では全学年で 9 割近くの児童が「異常なし」であった。歯科検診のむし歯処置状況では、全学年で 8 割の児童が「むし歯なし」であった。また、各学年「治療済み」の児童が「未処置」の児童を上回っているため、定期的に歯科受診をするなど、口腔内の健康について家庭の意識が高いことが考えられる。

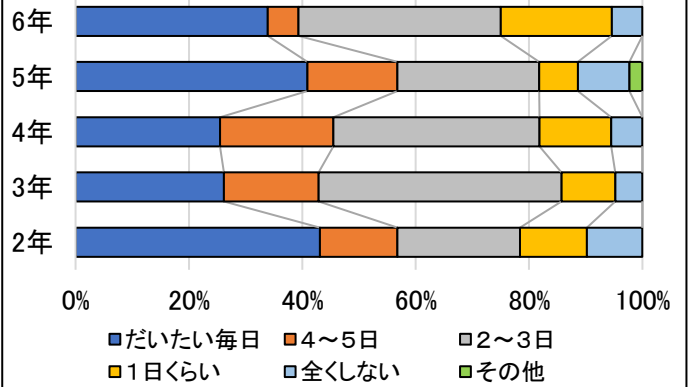
【学校生活習慣アンケート（前期）】



テレビ、動画、インターネット、ゲームの時間(平日)



授業以外での運動

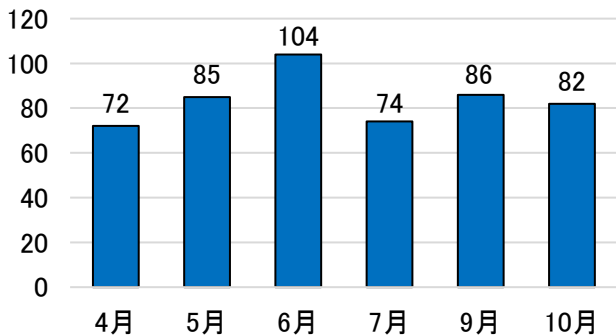


学校生活習慣アンケート

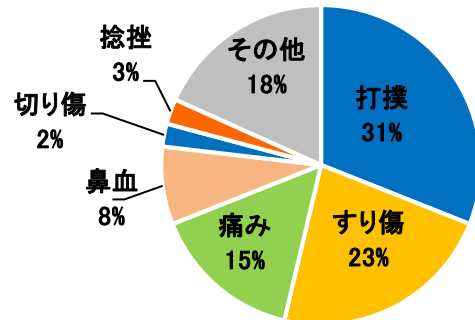
寝る時間(平日)は学年が上がるにつれて、遅くなっていった。高学年になると塾や習い事で忙しくなり、就寝時刻が遅くなる傾向がある。また、コロナの影響で、家で過ごす時間が以前より増えたこともあり、平日のテレビ、インターネット、ゲームの時間も学年が上がるにつれて視聴時間が長くなっている。

【保健室来室状況(令和4年4月1日~10月31日)】

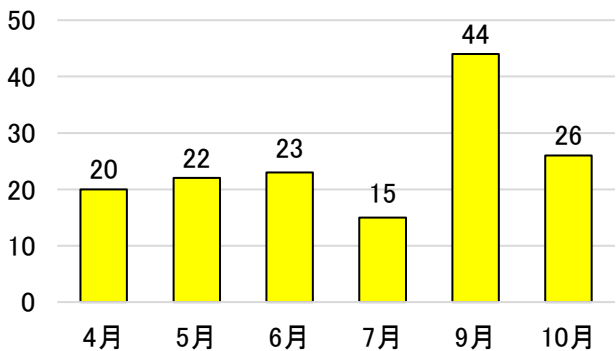
中和小 月別来室者数(外科)



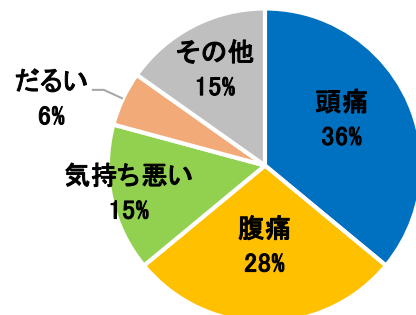
来室理由(外科)



中和小 月別来室者数(内科)



来室理由(内科)



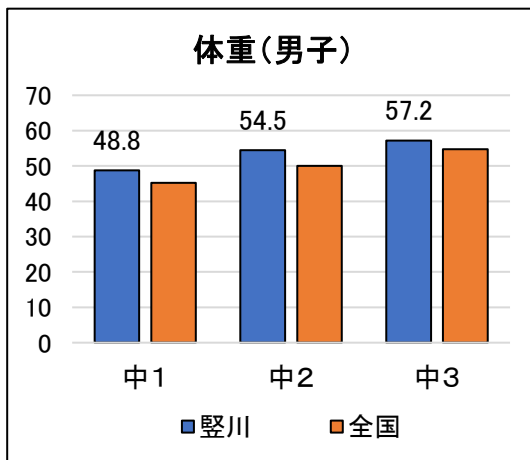
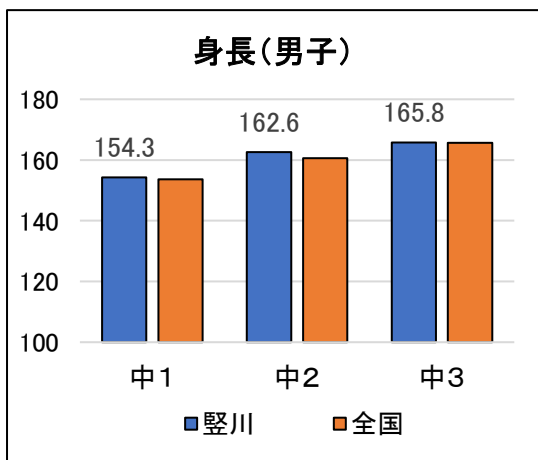
保健室来室状況

外科的理由による来室者は6月が多かった。学校生活に慣れてきて、不注意やトラブルにより、打撲や転倒によるすり傷が多くみられた。内科的理由による来室者は全体的に昨年と比べて減少傾向にある。9月は夏休み明けの生活習慣の乱れにより体調不良を訴える児童や新型コロナウイルス感染症による来室者がみられた。

豎川中学校

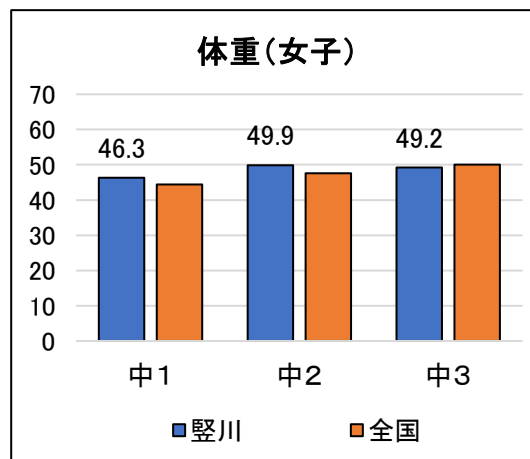
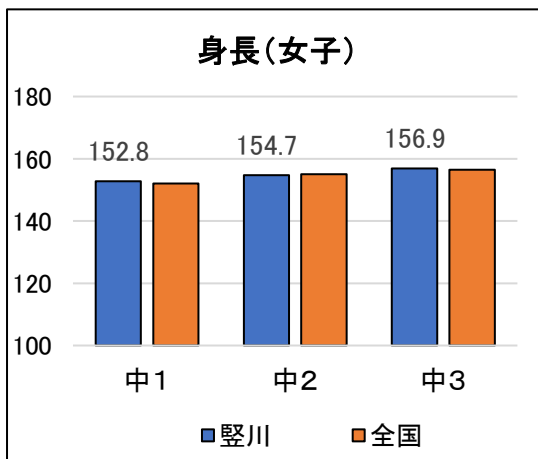
【定期健康診断の結果】

① 身体測定



身体測定 全国との比較 男子

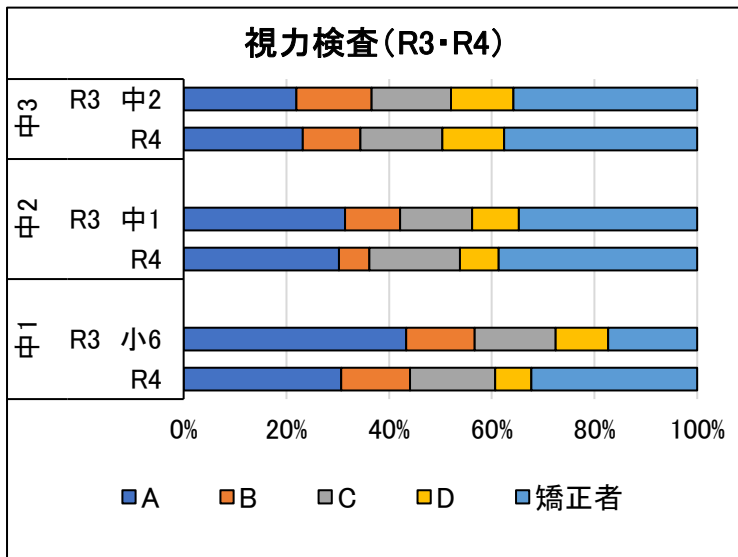
身長は全国平均と大きく変わらず成長している。
 体重は1・3年で3kg以上、2年生は4kg以上上回った。



身体測定 全国との比較 女子

男子と同様に身長は全国平均と大きく変わらず成長している。体重は1・2年が全国平均より2kg以上上回った。

② 視力検査

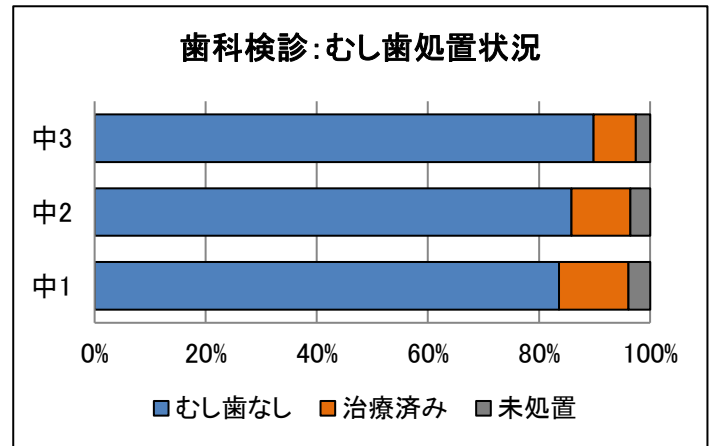
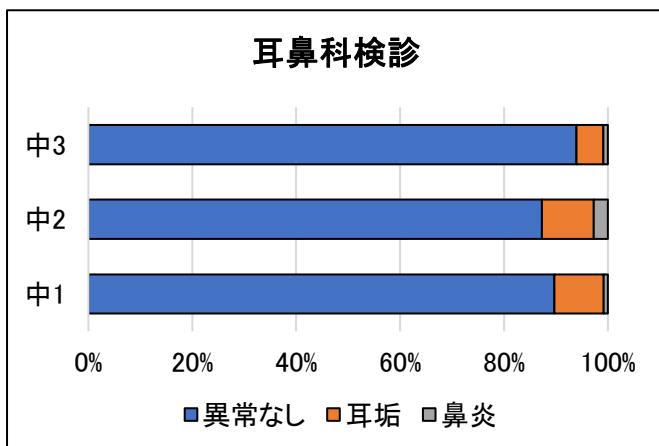
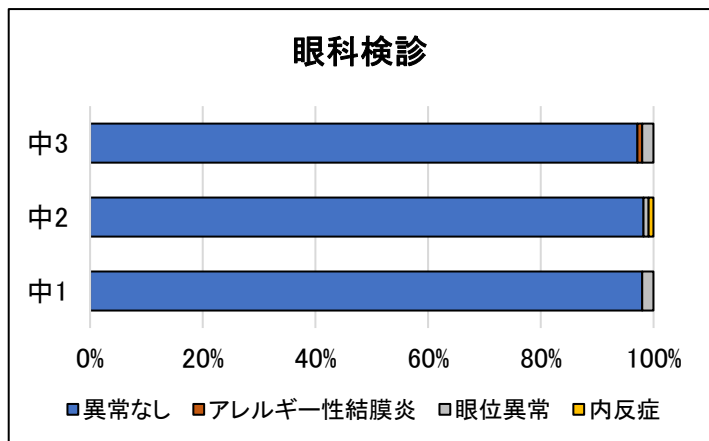
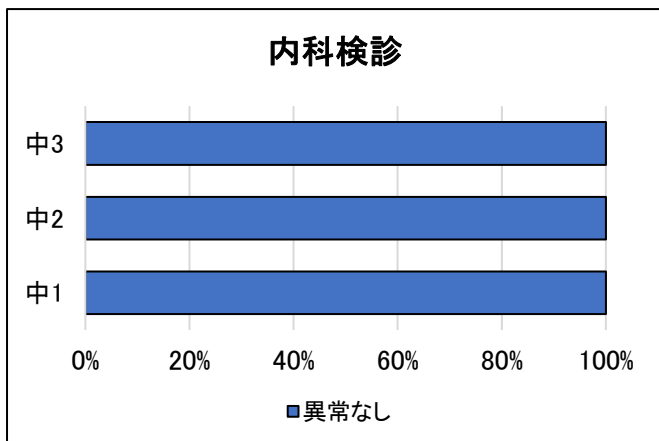


A: 裸眼 1.0 以上 B: 裸眼 0.7 以上 1.0 未満
 C: 裸眼 0.3 以上 0.7 未満 D: 裸眼 0.3 未満

視力検査 R3 との比較

昨年度の同時期に行った結果と比較すると1年のA(1.0以上)の生徒の割合が13%減少している。全校でA(1.0以上)の生徒は、28%であった。視力低下防止のため電子機器の使用時間等、継続して保健指導を行っていく必要がある。

③ 内科・眼科・耳鼻科・歯科検診

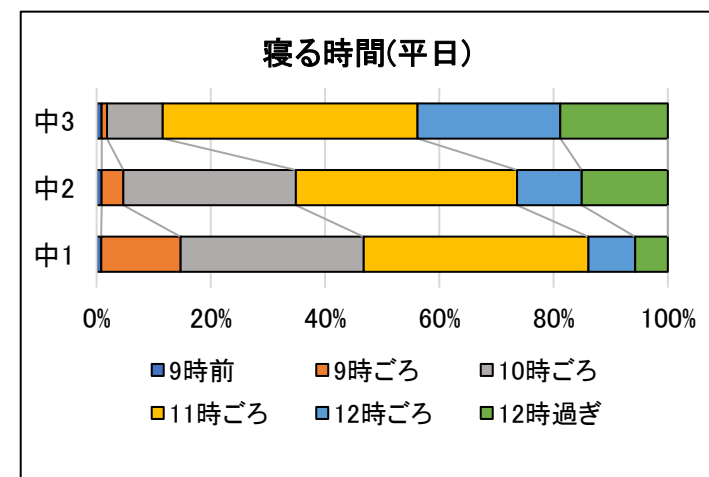
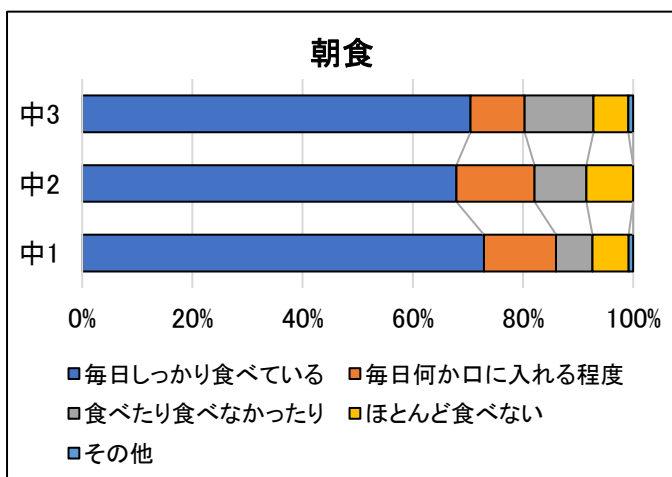


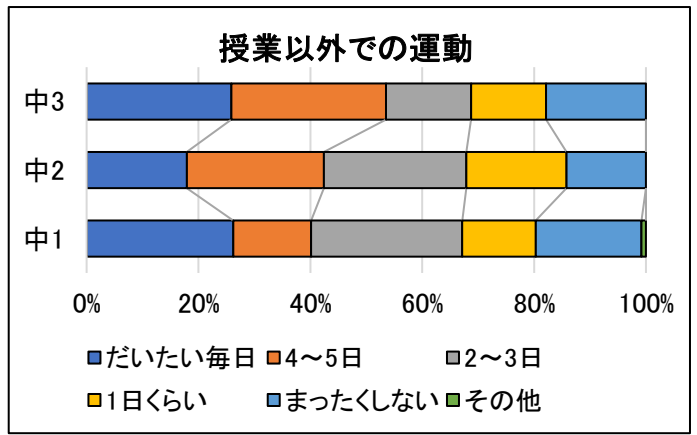
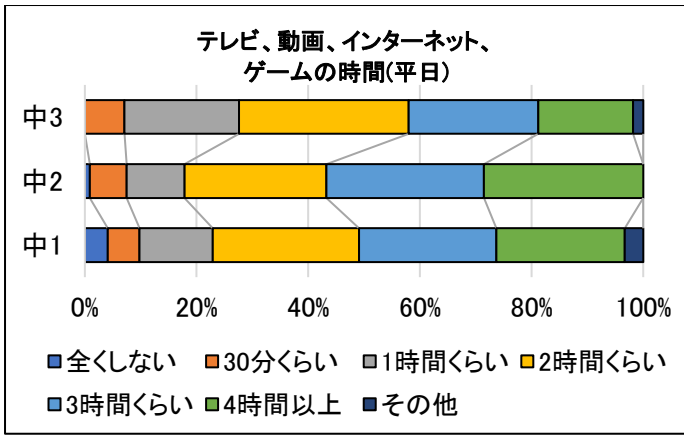
内科・眼科・耳鼻科・歯科検診

内科・眼科・耳鼻科・歯科では8～9割程度の生徒が異常なしであった。

歯科検診において未処置歯のある生徒は全校で12名と少ない。しかし、要観察歯のある生徒が50名いるため、むし歯や歯周病予防のための指導を進めていく必要があると考える。

【学校生活習慣アンケート結果（前期）】



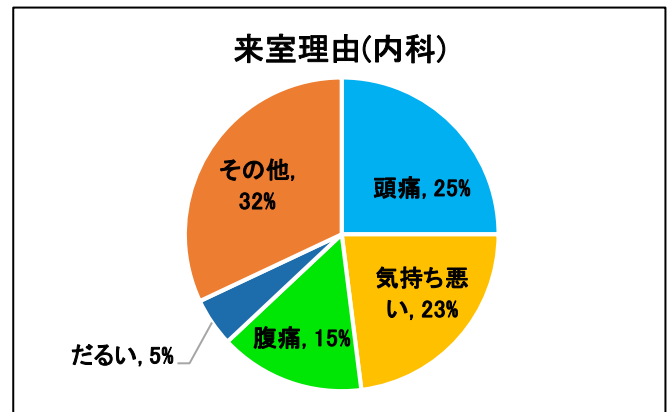
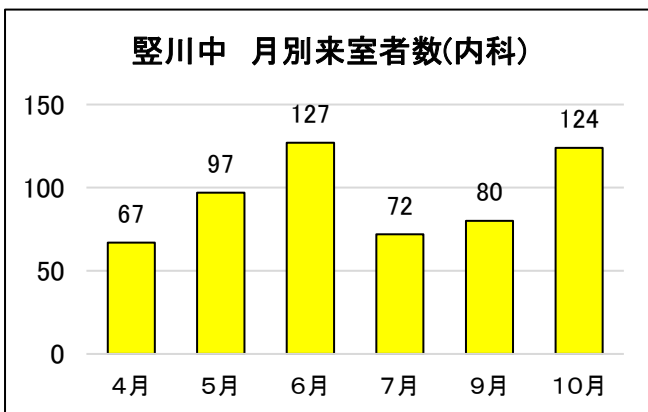
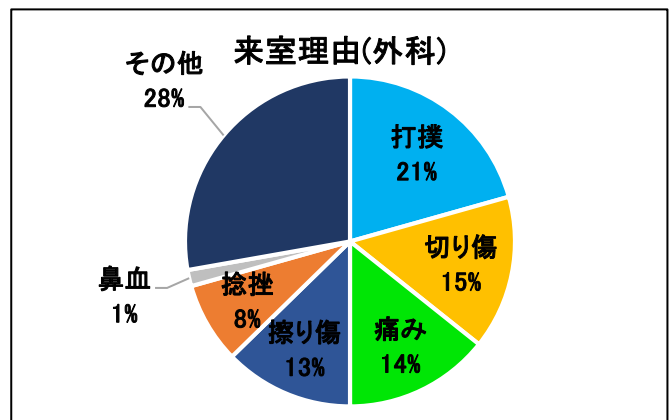
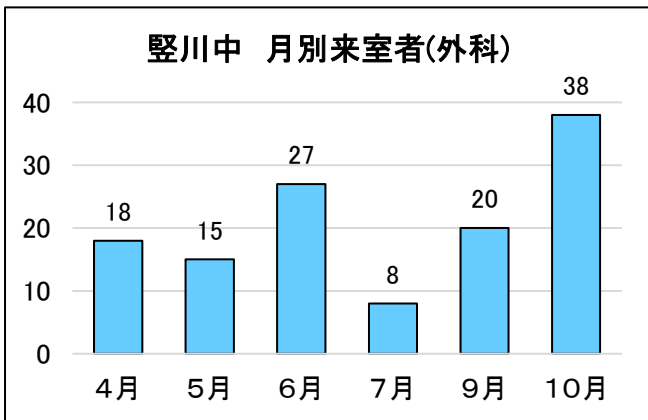


学校生活習慣アンケート

朝食、テレビ等の利用、運動について、学年によって差があるとはいえ、個人差であると考えられる。テレビ等の利用については、4時間以上と回答している生徒が各学年 20%程おり、2年生では使いすぎによる健康への影響を踏まえた指導を継続して行う必要がある。

入眠時間については学年が上がるにつれて寝る時間が遅くなっている。3年生は、「12時ごろ」と「12時過ぎ」を合わせると約 44%であった。塾や習い事、動画やゲーム等が寝る時間に影響していると考えられる。

【保健室来室状況(令和4年4月1日~10月31日)】



保健室来室状況

中学校の来室者数は、内科で延べ 571 名、外科で 126 名であった。外科の内訳は、「打撲」「切り傷」「痛み」の順に多かった。10月の来室者が最も多く、体育でのハンドボールやバスケットボールによる打撲や突き指等の外科的怪我で増加したと考えられる。内科の内訳は「頭痛」「気持ちが悪い」「腹痛」の順に多かった。「その他」としては、家庭の悩みが背景にある生徒が多く、教室で学習できないというケースで保健室を来室する生徒が多くみられた。

小中合同学校保健委員会アンケート

最後までご覧いただきありがとうございました。最後に、アンケートへのご協力をお願いいたします。以下のQRコードを読み取るかURLからアンケートにお答えください。

(回答期限：1月31日(火)まで)

① QRコード



② URL

<https://forms.office.com/r/dlvAsbZ4cy>



アンケートにご協力いただき
ありがとうございました。

